

「オーバード・ホール 劇場を飾る 15 枚」

劇場に向かうワクワクを。街頭にアートを。日々の一コマに愉しみを。



西から見た様子(タナカシュウハイさん、平井千香子さん)



東から見た様子(Nacchan501さん)

オーバード・ホールを運営する【公益財団法人富山市民文化事業団】は、大ホール南側に面する 15 枚のポスターケースに、富山で活動する 3 名のアーティストに「劇場を飾る 15 枚」を創作いただきました。

これまで 15 枚のポスターケースは、公演告知用のポスター掲出や、昨年度は中ホール開館にむけてのメッセージポスターを掲出しておりました。中ホールの開館から 1 年以上が経ち「ちょうどいい」使い方ができる劇場として広く市内外のみなさまから活用されることになり、メッセージポスターは、その役目を終えたと感じています。

そこで、ポスターケースのあらたな活用としまして、富山で創作活動をしているアーティストにエールを送る取り組みとして、過去にオーバード・ホール感謝祭「楽市楽座」にご参加いただき、個性を發揮された 3 作家 タナカシュウハイ、平井千香子(ひらいちかこ)、Nacchan501(なっちゃんごーまるいち)に「劇場を飾る 15 枚」を自由な発想でアート作品を創作依頼し、このたび完成いたしました。

三者三様の表現の 15 作品は、日々の一コマにちょっとした愉しみと彩りを添え、劇場へ向かう高揚感を高めます。

西側から タナカシュウハイさん 5 作品、平井千香子さん 5 作品、Nacchan501 さん 5 作品。計 15 作品。

※15 作品のディレクションはタナカシュウハイさん。



お問合せ:(公財)富山市民文化事業団

担当:総務企画課 宇瀬・山本 t-use@aubade.or.jp yamanori@aubade.or.jp

富山県富山市牛島町 9-28 オーバード・ホール内 TEL.076-445-5610(平日 8:30~17:15)

<https://www.aubade.or.jp>

プロフィール

タナカシュウハイ (Rebelman★Army) ステンシル・ドローイング・コラージュ



‘77年富山生まれ、現在も富山在住。
ステンシル / ドローイング / コラージュ を駆使する野良作家。rebel music の匂いを濃厚に感じさせるアブストラクトでサキヤスティックなアーティストとして知られる。パンク、レゲエ等の音楽やファッションやアートワーク、浮世絵、DADA、60,70年代 日本のハイコントラストなモノクローム写真やデザイン図絵に強く影響を受け、その興味は多岐に渡る。‘02年からステンシルでTシャツ制作を始め、全国各地のフェスやイベント会場で販売、ライブペインターとしての出演も多数。14年頃よりキャンバス作品などの平面作品も制作し、東海、北陸、関東、関西地方のギャラリー、洋服屋、飲食店で個展を開催中。‘17年、‘19年には、オーストラリア シドニーで開催された STENCIL ART PRIZE にて作品が世界選抜として入賞。

平井千香子 (ひらいちかこ) 日本画家



1972年生まれ、富山県上市町在住。東京モード学園在学中に、ファッションクリエイター新人賞国際コンクール日本代表、第10回ルミネファッション大賞を受賞。2005年より富山県上市町を拠点に絵画制作活動を開始。これまで第83回春陽展奨励賞、第1回越中アートフェスタ優秀賞・北日本新聞社賞、越中アートフェスタ2011優秀賞・北日本新聞社賞を受賞。2007年より文芸誌「弦」の装画を制作。数々の個展、グループ展に出展。

Nacchan501 (なっちゃんごーまるいち) イラストレーター



秋田で幼少期を過ごし、東京で漫画家になった後、流れ着いた富山で、3人の子どもを育てる傍ら、交流サイト(SNS)で投稿した作品や、偶然出会った人との縁をきっかけに、イラストレーターとして再始動。似顔絵、キャラクターデザイン始め、数十メートルの壁画やウインドウアート等、さまざまな作品を展開している。